

SARU MONOGATARI

サル物語 ヒャッケイ



駆け落ち・・・

2月中旬。高崎山のサルたちは恋愛期真っただ中の出来事でした。

今シーズン一番モテていたメスザルが、B群メス頭の娘「ヒャッケイ」ちゃんです。毎日のように、第1位「ナンチュウ」第2位「マクレーン」第4位「ハジメ」第6位「ルフィ」第7位「ゴロー」と、5頭のオスたちがぞろぞろとヒャッケイを付け回していました。いわゆるストーカー状態です。

今期一番のモテザルB群♀「ヒャッケイ」とても疎ましく思っていたのでしょう。周りのメスザルやコザルに咬みついて八つ当たりをしていました。また、賢いヒャッケイはわざと係員にしがみつき「ギャー！！」と叫び声を上げるのです。その騒動にオスたちは、係員がヒャッケイに何かしたのだと思い込み、好きな彼女に良いところを見せたい為か、係員を囲み「ゴッゴッ！！」と攻め立てるのです。その際に、ヒャッケイはオスたちを振り切って逃げて行く。そんなこともありました。

この日も、ヒャッケイはオスたちに付け回されていました。とっさに全力で園内を走り回り、オスたちも必死で追いかけていたのですが、あるタイミングで崖を駆け下り茂みに姿を消しました。オスたちは啞然と崖下を眺めていました。そんな中、「あれ？ゴローがいない・・・」そう、そのオス集団のなかにゴローの姿がなかったのです。ゴローを探し、モノレール乗り場の方へ目をやると、ゴローが座って山の茂みの方を凝視していました。そしていきなり、ゴローは全力でサル寄せ場を横切り、崖とは真逆の山の方へ走り去りました。そのゴローの後を必死で追っていたのは、なんとヒャッケイでした。その後、2頭はしばらく山の中にいて姿を見せませんでした。

上位のオスたちがいて、ゴローも積極的にアプローチができず、また、ヒャッケイからゴローに近づけば、ゴローが上位のオスたちに嫉妬され追われるのが目に見えています。お付き合いすることが難しい2頭が考えた策なのでしょうか、サル社会にも、ドラマのような「駆け落ち」があるなんて本当に驚かされました。

こんなに惹かれあった2頭ですが、その後1週間も経たずにパートナーが変わってしまいました。サルの恋愛って不思議です。

★大分市内の小学生・中学生は入園料無料です。学生証などを見せて入園してください。

ご意見・ご要望をおまちしています。



国立公園 高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1
TEL 097-532-5010 FAX 097-536-2500

E-mail / info@takasakiyama.jp
http://www.takasakiyama.jp/

MT Takasakiyama Member's Club

[高崎山メンバーズクラブ] 会報



国立公園
高崎山
自然動物園
2020.春号
No.98

題「食事中」



写真募集中!!

皆さんの撮影したステキなお写真で会報誌の表紙を飾ってみませんか。なお、お写真・データはお返しできませんので、ご了承ください。



スタッフブログ、フェイスブック、Instagram、Youtubeで高崎山自然動物園のサルの出来事を紹介しています。

写真提供:高崎山メンバーズクラブ会員 有田様

C群のオスザルたち

今年の冬はC群のオスザルたちに変動がありました。

C群第3位であった「シカオ」が12月頃からB群に接近し、B群のメスザルたちと仲良くしている様子が度々確認されていました。この頃のシカオはB群、C群でも見かけるといった「二重生活」をしていました。12月下旬になると、シカオはC群へは戻らなくなり、1月にはB群の端の方で目立たないように小さくなって生活をするようになりました。ただ、シカオのそばには常にB群のメスザルがいてモテていました。

C群の4位「ネイル」・5位「ショット」は1月3日に起きた事件をきっかけに順位が不安定になりました。その日、ネイルがランク下であるショットを追いかけていました。上のランクのオスザルが下のランクのオスザルを追いかけるなどはよくあることではあったのですが、そこに突如、メスザル第1位の「ミルサー」が割って入り、ショットの応援を始めたのです。それを契機に第1位の「ブラック」・第2位の「マルオ」がショットを応援、ついにネイルとショットの形勢は逆転し、ネイルは逆に追われる立場になってしまいました。その日を境に、ネイルとショットは順位が入れ替わったものの、1月13日にはネイルが再逆転し4位に、2月21日にはショットが再逆転し4位になり、2月25日にはまたネイルが再度逆転して4位になるといった不安定な状態が続いています。この不安定な関係はまだ今後も続くのかが注目されます。

そして、ランク外ではありますが、「ナルト」というオスザルがC群にはいたのですが、ナルトもこの冬でB群へ移籍しました。C群には若いオスザルたちが多く所属していることが2018年の冬頃から確認されています。この若いオスザルたちが群にしっかり定着してくれるとC群もまた以前のように勢いを取り戻すことができるのかもしれない。



1位
【ブラック】



2位
【マルオ】



3位(前4位)
【ネイル】



4位(前5位)
【ショット】



離脱(前3位)
【シカオ】



4足で立てるようになりました

みなさんはミラクルちゃんをご存知ですか？
2018年冬に、下半身が不自由になり両手だけの生活を余儀なくされてましたが、サル遊びがリハビリになったのか、奇跡的に回復をしたコザルです。最近でいえば、2019 TNZ選抜総選挙に出場をしていました。

この冬にも、下半身が不自由となったコザルが群れとともに山から下りて来ました。B群所属、年齢は3才ほどのオスザルです。山の上り下りで体力をかなり使うのか、サル寄せ場へ到着した頃にはぐったりとしており、エサの時間以外はほぼ寝ているような状態が続き、スタッフやお客様が目の前を歩き回っても一切反応もせず、その状態から見ると、あと数日の命であろうと思われました。しかし、いくら月日が過ぎても山から下半身を引きずりながらサル寄せ場へ出てきてくれるのです。その後も様子を観察していると全く動かすことのできなかった下半身がじわりじわりと動くようになり、なんと4本の足でしっかりと立つことができるまで回復しました。この子もまた、奇跡の回復を遂げたのです。

ミラクルちゃんのような復活劇が成し得られるのは至極稀なことですが、このコザルも奇跡を起こしてくれました。高崎山のサルたちの強さにはほんとうに驚かされます。今はまだ、下半身が動かしづらいようですが、足を引きずる事が少なくなりました。オスザルのため、今後いつかのタイミングで群れを離れていく運命ですが、そのころにはしっかりと下半身が治ることを願いながら、このコザルの動向を見守っていきたいと思います。



両足が動かなかった頃